

平成22年度  
事業報告書

学校法人阪南大学

# 目次

|                     |            |
|---------------------|------------|
| 目次                  | P 1        |
| 理事長ご挨拶              | P 2        |
| 法人の概要               |            |
| - 1 設置している学校と所在地    | P 3        |
| - 2 沿革              | P 4        |
| - 3 定員及び現員数         | P 4        |
| - 4 教育方針及び経営方針      | P 5        |
| - 5 第三者評価の実施状況      | P 5        |
| - 6 役員・評議員・教職員の概要   | P 6 ~ 7    |
| 事業の概要               |            |
| - 1 法人の事業概要         | P 8        |
| - 2 大学の事業概要         | P 9 ~ P 13 |
| - 3 高等学校及び同中等部の事業概要 | P 14       |
| - 4 施設の状況           | P 15       |
| 財務の概要               |            |
| - 1 平成22年度決算の特徴     | P 15       |
| - 2 資金収支の概要         | P 16       |
| - 3 消費収支の概要         | P 17       |
| - 4 貸借対照表の概要        | P 17       |
| - 5 資金収支計算書         | P 18       |
| - 6 消費収支計算書         | P 19       |
| - 7 貸借対照表           | P 20       |
| - 8 財産目録            | P 21       |
| - 9 資金収支内訳表         | P 22       |
| - 10 消費収支内訳表        | P 23       |
| - 11 キャッシュフロー計算書    | P 24       |
| - 12 5ヶ年の経年比較       | P 25 ~ 26  |
| - 13 財務比率グラフ        | P 27       |

## 理事長ご挨拶 「社会からの信頼に応える学園として」

この度の東日本大震災により被災されました方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

阪南大学では、東日本大震災により被災された地域の大学生を支援するために、聴講生として受け入れる制度を設けております。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、学校法人阪南大学の平成22年度における主要な事業について、ご報告させていただきます。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### - 利便性も兼ね備えた都市型キャンパスへと着実に発展 -

阪南大学は昭和40年開設以来、激変する社会情勢の中で社会からの要請に応え、経済学部、流通学部、経営情報学部、国際コミュニケーション学部、国際観光学部の5学部、さらに大学院企業情報研究科(修士課程)を設置し、順調に成長してまいりました。

また、阪南大学高等学校は、大阪府松原市にある私立学校として、地元からの評価も高まってまいりました。学校法人阪南大学の設置する各学校は、大阪市内にも近いという利便性も兼ね備え、約6,000名の学生生徒が集う「都市型キャンパス」として、着実に発展しております。

### - 教育内容等の見直しを図り、魅力ある学校を目指して -

阪南大学においては、平成22年4月に既存の国際コミュニケーション学部国際観光学科を改組し、国際観光学部国際観光学科を設置しました。国際観光学部の設置にあわせ、国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科のカリキュラムを変更し、「学生のコミュニケーション能力を高めること」の実現強化を図りました。そして「英語教職免許の取得」及び「TOEIC(R)のスコアアップ」に対応できる語学教育をさらに充実させるため、大学本キャンパスに最新のAV設備等を備えた語学教室施設を中心とした新教室棟(2号館)も整備し、平成22年度から利用を開始しました。

一方、阪南大学高等学校においては教育改革を進めているところですが、コース制の見直しを図り、平成22年度からは、「総合コース」と「国際コース」を統合し、「総合進学コース」を設置しました。さらに、平成23年度から、「国英コース」と「数英コース」を統合し、「文理特進コース」を設置すべく準備を行いました。コース再編成にあわせ、カリキュラムも変更し、教育内容のさらなる充実を図りました。このように常に教育内容等の見直しを図り、今後も魅力ある学校作りに努めます。

### - 社会から評価される学校を目指して -

社会が求める人材とは、自ら仕事を作り出し、企業と社会に貢献できる自律的な人材です。阪南大学は、学生自身が基礎的な知識を学ぶだけでなく、議論等で得た知識を実際に検証する実学重視の教育をより充実させ、自律的、能動的に考え積極的に行動できる人材の育成に努めています。そのためにキャリア教育の充実を図り、「キャリアゼミ」等の取組を展開しております。

本学の取組が、活力ある地域社会の創造、人材育成に寄与できるよう、大阪府松原市との連携協力に関する協定を締結しております。

阪南大学、阪南大学高等学校及び同中等部は、21世紀に活躍できる個性豊かな人材の育成を責務とし、社会の信頼に応えるべく教育機関としての務めを果たしてまいります。

平成23年5月

学校法人阪南大学 理事長 菅 博 三

## 法人の概要

### - 1 設置している学校と所在地

#### 阪南大学

##### 本キャンパス

(経済学部、流通学部、経営情報学部、国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科、  
企業情報研究科)

〒580-8502

大阪府松原市天美東 5 丁目 4 番 33 号 (近鉄南大阪線河内天美 (阪南大学前) 駅徒歩 6 分)

TEL: 072 - 332 - 1224 (代表)

##### 南キャンパス

(国際観光学部、国際コミュニケーション学部国際観光学科)

〒580-0033

大阪府松原市天美南 1 丁目 108 番 1 号

(近鉄南大阪線河内天美 (阪南大学前) 駅徒歩 7 分)

TEL: 072 - 330 - 5263 (代表)

|               |                    |
|---------------|--------------------|
| 大学院           | 企業情報研究科            |
| 経済学部          | 経済学科               |
| 流通学部          | 流通学科               |
| 経営情報学部        | 経営情報学科             |
| 国際コミュニケーション学部 | 国際コミュニケーション学科      |
|               | 国際観光学科             |
| 国際観光学部        | 国際観光学科 (平成22年4月開設) |

#### 阪南大学高等学校

〒580-0022

大阪府松原市河合 2 丁目 10 番 65 号 (近鉄南大阪線高見ノ里駅徒歩 7 分)

TEL: 072 - 332 - 1221 (代表)

##### 普通科全日制課程

数英コース (共学)

国英コース (共学)

総合進学コース (共学)

(平成23年4月より、国英コースと数英コースを統合し、文理特進コース (共学) に変更)

#### 阪南大学高等学校中部

〒580-0022

大阪府松原市河合 2 丁目 10 番 65 号 (近鉄南大阪線高見ノ里駅徒歩 7 分)

TEL: 072 - 332 - 1221 (代表)

## - 2 沿革

|               |   |
|---------------|---|
| 昭和14年(1939)1月 | 大鉄工学校創立   |
| 昭和23年(1948)4月 | 大鉄工業学校を大鉄高等学校に名称変更                                      |
| 昭和40年(1965)4月 | 阪南大学商学部商学科開設  |
| 昭和47年(1972)4月 | 阪南大学経済学部経済学科開設  |
| 昭和61年(1986)4月 | 阪南大学商学部経営情報学科開設   |
|               | 大鉄高等学校を阪南大学高等学校に名称変更                                    |
| 平成6年(1994)4月  | 学校法人名を「学校法人阪南大学」に変更                                     |
| 平成8年(1996)4月  | 阪南大学商学部を改組し、流通学部と経営情報学部を開設                              |
| 平成9年(1997)4月  | 阪南大学国際コミュニケーション学部文化コミュニケーション<br>学科・国際観光学科開設             |
| 平成12年(2000)4月 | 阪南大学大学院修士課程開設<br>(企業情報研究科企業情報専攻)                        |
| 平成14年(2002)4月 | 阪南大学高等学校が松原市河合に移転し中等部を新設                                |
| 平成16年(2004)4月 | 阪南大学国際コミュニケーション学部文化コミュニケーション<br>学科、学科名を国際コミュニケーション学科に変更 |
| 平成22年(2010)4月 | 阪南大学国際コミュニケーション学部国際観光学科を改組し、<br>国際観光学部国際観光学科を開設         |

## - 3 定員及び現員数

(単位 人)

|                        | H22 入学定員 | H22 入学者数 | H22 収容定員 | H22 在籍者数 |
|------------------------|----------|----------|----------|----------|
| <b>阪南大学</b>            |          |          |          |          |
| 経済学部                   | 300      | 351      | 1,200    | 1,442    |
| 流通学部                   | 210      | 310      | 930      | 1,167    |
| 経営情報学部                 | 210      | 263      | 930      | 1,167    |
| 国際コミュニケーション学部          | 145      | 174      | 890      | 1,080    |
| 国際観光学部                 | 150      | 183      | 150      | 183      |
| 合計                     | 1,015    | 1,281    | 4,100    | 5,039    |
| <b>阪南大学大学院</b>         |          |          |          |          |
| 企業情報研究科                | 15       | 16       | 30       | 30       |
| <b>阪南大学高等学校(中等部含む)</b> | 400      | 319      | 1,200    | 1071     |

在籍者数は、平成22年5月1日現在です。

## - 4 教育方針及び経営方針

### 1. 教育方針

阪南大学は、「**実学重視の就職に強い大学**」を目指します。そのために、多彩なキャリア支援、広く社会で活躍できる女性の育成などを視野に入れて様々な教育改革に取り組んでいます。

阪南大学高等学校及び同中等部は、生徒それぞれの能力に応じた発展的育成と適切な進路指導に努めます。

### 2. 経営方針

財政基盤の充実なくしては、教育の充実は図れません。本法人の経営方針は以下の2点です。

**借入金に依存しない健全経営**

**将来に備えての現保有資産(現預金)を確保**

## - 5 第三者評価の実施状況

財団法人大学基準協会から評価を受け、平成18年3月29日付けで、大学基準に適合していると認定されています。(認定期間は平成25年3月31日まで)

以下は、財団法人大学基準協会からの評価結果の一部抜粋です。

- ・キャリア教育を充実し、就職指導に力を入れて学生の支援をしている。特に資格取得を対象とした授業等において学長表彰制度を設け、報奨金を授与するなど、積極的な支援をしている。
- ・「借入金に依存しない健全経営」と「将来に備えての現保有資産(現預金)を確保」を着実に実現していると言え、財政状況等に関する目標は十分達成されている。

- 6 役員・評議員・教職員の概要（平成23年3月31日現在）

1. 役員

|      |        |                      |
|------|--------|----------------------|
| 理事長  | 菅 博三   |                      |
| 常任理事 | 河本 伸二郎 | （労務・渉外・財務担当）         |
|      | 高木 清宏  | （阪南大学高等学校・同中等部校長）    |
|      | 辰巳 浅嗣  | （阪南大学長）              |
| 理事   | 小林 正佳  | （元学校法人大阪聖心学院理事・評議員）  |
|      | 辻井 昭雄  | （近畿日本鉄道株式会社相談役）      |
|      | 加藤 正治  | （阪南大学経営情報学部長）        |
|      | 石井 雄二  | （阪南大学経済学部長）          |
|      | 堀 浩司   | （税理士・経済ジャーナリスト）      |
|      | 森田 憲導  | （阪南大学流通学部長）          |
|      | 吉川 茂   | （阪南大学国際コミュニケーション学部長） |
|      | 吉兼 秀夫  | （阪南大学国際観光学部長）        |
| 監事   | 櫻井 善信  | （泉州商事株式会社取締役社長）      |
|      | 花岡 卓二  | （司法書士）               |

2. 評議員

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 岩下 由利子 | （阪南大学トランポリン部監督）      |
| 倉橋 眞一  | （新和印刷株式会社常務取締役）      |
| 西原 浩二  | （株式会社ヒューマンバンク顧問）     |
| 船木 克容  | （大和研磨材工業株式会社代表取締役）   |
| 光田 誠次  | （株式会社光田電気商会代表取締役）    |
| 秋吉 孝子  | （阪南大学研究支援担当部長）       |
| 上田 康義  | （学校法人阪南大学法人事務局長事務取扱） |
| 小阪 好弘  | （阪南大学高等学校・同中等部事務長）   |
| 明石 義人  | （阪南大学高等学校教頭）         |
| 坂上 弘   | （阪南大学高等学校・同中等部教頭）    |
| 佐々木善啓  | （阪南大学事務局長）           |
| 辰村 雅意  | （学校法人阪南大学財務部長）       |
| 堤 實    | （阪南大学流通学部教授）         |
| 山本 博   | （学校法人阪南大学理事長室長）      |

評議員の記載において理事としての前掲者は除いています。

3. 役員及び評議員の定数・現員数等

平成23年3月31日現在

|     | 定員数     | 現員数 | 常勤  | 非常勤 |
|-----|---------|-----|-----|-----|
| 理事  | 12名～14名 | 12名 | 9名  | 3名  |
| 監事  | 2名      | 2名  | 0名  | 2名  |
| 評議員 | 25名～29名 | 26名 | 18名 | 8名  |

#### 4. 教職員の概要（平成22年5月1日現在）

|                 |      |
|-----------------|------|
| 大学専任教員数         | 113人 |
| 大学専任職員数         | 71人  |
| 高等学校及び同中等部専任教員数 | 54人  |
| 高等学校及び同中等部専任職員数 | 7人   |



## 事業の概要

### < 総括 >

平成22年度の事業は、ほぼ計画通りに実施することが出来ました。

大学におきましては、国際観光学部設置を事業計画の柱としておりましたが、平成22年度に予定通り設置し、入学定員を上回る183名の入学者を迎えることができました。また、大学創立50周年記念館の建設準備に取りかかり、建設資金の積立も開始しました。

高等学校におきましては、教育改革を進めているところですが、平成22年度実施の平成23年度入試において、定員を大きく上回る入学手続者がありました。

### - 1 法人の事業概要

#### 1. 社会的責任を果たす経営体制

平成21年度に引き続き、常任理事会を原則毎週開催し、適切な法人運営に努めました。監査体制については、監事(2名)による監査と公認会計士による監査との連携を図り、監査体制の向上を図りました。監事は、理事会・評議員会に出席すると共に、学長、校長との面談を通して業務監査を実施し、公認会計士から会計監査の状況について説明を受けました。また、内部統制を強化するため、内部監査に関する規程を整備しました。

#### 2. 学園経営方針の遵守

法人の経営方針である「借入金に依存しない健全経営」、「将来に備えての現保有資産(現預金)を確保」を、遵守しました。なお、法人の資金運用は、引き続き、銀行預金のみで安全確実な運用に努め、資金運用に係る損失や含み損は一切発生しておりません。

#### 3. 教育環境の整備

学生・生徒の教育環境の充実と安全、衛生面での向上を目的とし、投資を行いました。

英会話ラウンジ「English Space」を大学の本キャンパスにも増設しました。

語学力育成強化のため、新語学教室棟での授業を開始しました。

実学教育充実のために「キャリアゼミ」の活動を推進しました。

大学校舎等の床滑り止め工事(1号館、4号館、6号館、8号館、9号館)を行いました。

大学トイレ内にハンドドライヤー(81台)を設置しました。

大学建物の外壁タイルの劣化調査を実施しました。

高校・中等部の校舎内手すりの安全対策を講じました。

## - 2 大学の事業概要

平成22年4月に国際コミュニケーション学部国際観光学科を改組し、国際観光学部国際観光学科を開設しました。国際観光学部設置により、5学部体制となりました。平成22年度も「実学重視の就職に強い大学」を目標に取り組みを推進しました。

### 1. 教育改革の推進 - 文部科学省GP (Good Practice) 事業の展開

#### (1) 「キャリアゼミ」の活動

「キャリアゼミ」とは地域社会や企業の課題を解決する実践型のゼミで本学独自の取組です。地域社会の課題解決に向けて、教員、学生、地域社会が双方向で連携し、学生が自ら考え、行動し、問題解決を図る実学実践の場となっています。「キャリアゼミ」の取組は、平成19年度に文部科学省現代的二・ズ取組支援プログラム(現代GP)に採択された事業であり、平成22年度は、本学が進める実学教育を具現化する取組として、さらに発展的に展開しました。「キャリアゼミ」の取組の結果、教室での講義に対する学生の意欲も向上し、教育効果が目に見えて現れてきています。平成22年度の「キャリアゼミ」の活動テーマは、以下の通りです。

|    | 活動テーマ  | ゼミ担当者           |
|----|--|-----------------|
| 1  | 松原ブランドを構築する！                                   | 平山 弘 (流通学部)     |
| 2  | 異文化交流をベースとした国境を越えた環境保全プロジェクト                   | 石井 雄二 (経済学部)    |
| 3  | 新今宮観光インフォメーションセンターの運営と大阪国際ゲストハウス地域づくりに向けた社会的実践 | 松村 嘉久 (国際観光学部)  |
| 4  | ホテル事業の課題研究                                     | 森山 正 (国際観光学部)   |
| 5  | エコミュージアムによる元気な地域づくり                            | 吉兼 秀夫 (国際観光学部)  |
| 6  | 生活資源を活用した観光まちづくり                               | 前田 弘 (国際観光学部)   |
| 7  | 学生による企業活動の実践                                   | 岩橋 昭廣 (流通学部)    |
| 8  | ビジネスプランの作成と発表およびビジネス活動支援                       | 梶山 国宏 (経済学部)    |
| 9  | マーケティング調査と実践                                   | 川端 庸子 (経営情報学部)  |
| 10 | 中小企業IT支援プロジェクト                                 | 北川 悦司 (経営情報学部)  |
| 11 | 中小企業の経営改善をサポート                                 | 関 智宏 (経営情報学部)   |
| 12 | 観光マーケティング・サービスマーケティング                          | 大谷 新太郎 (国際観光学部) |
| 13 | 個性ある中小企業の経営理念と人材育成                             | 安井 恒則 (経営情報学部)  |

## (2) 学生支援推進プログラムの推進

平成21年度の文部科学省学生支援推進プログラム採択事業である「阪南コネクションの構築によるキャリア教育及び就職支援の強化」への取り組みを推進しました。教養総合講座「阪南コネクション」を開講し、実際に社会で活躍している経営者やビジネスパーソンの直接インタビュー - に行き、調査・分析・プレゼンテーションをし、社会で求められる実践力を高めました。

## 2. キャリア支援の強化充実

### (1) 相談体制の強化

キャリア相談員を増員し、相談体制の強化を図りました。また、卒業生相談員がゼミと連携し、1・2年次ゼミ時間内にガイダンスを実施しました。

### (2) 就職先決定に結びつく体制の強化

厳しい社会情勢を踏まえて、就職先の開拓と共に企業と学生を結ぶ体制を強化し、校内での企業説明会を増やしました。就職ガイダンス・講座に加え、業界・職種等様々な角度から研究会・学習会を設定し、学生の希望・適性に添った支援を実施しました。

(警察官・アパレル業界・旅行業界・女子学生就職支援講座等)

さらに、個人面談による面接指導及び筆記試験対策講座を強化しました。

### (3) キャリア関連科目の展開

「キャリアアップ」と「キャリアデザイン」などのキャリア科目は、ほとんどの学生が受講しており、低学年から就職に対する意識を育む取組を行っています。

## 3. 授業及び教育環境の改善

### (1) ICT(情報通信技術)の活用

双方向教育システム「ポータル HInT」の機能充実を図り、小テスト、着席順座席一覧・出席機能等に加え、学生の反応をリアルタイムに把握できる「みんなのこえ」などの機能を活用し、学生の理解度に応じた授業を行いました。平成22年前期は7科目13クラスの授業で809人、後期は9科目10クラスの授業で995人の学生が利用しました。

「ICT(情報通信技術)を活用した双方向教育システムの構築」については、平成19年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)として採択された事業であり、授業改善に効果がある取組として、継続的に実施しています。

### (2) 教職員の能力開発

FD(ファカルティ・ディベロップメント)・SD(スタッフ・ディベロップメント)活動を推進するため、全学FD・SD委員会では新任教員研修会やジャーナリスト、予備校関係者を招いての講演会を実施しました。また、平成22年度授業評価は、前期6月、後期11月に実施し、昨年より評価実施科目数が増加しました。

### (3) SA制度の充実

SA(スチューデント・アシスタント)を拡充し、137名の学生が授業の補助を行いました。さらに教材作成支援に24名、情報機器の利用アドバイザーとして31名の学生が関わりました。

### (4) 英会話ラウンジの拡充と学習支援室の開設

平成22年3月に竣工した2号館(語学教室棟)にも英会話ラウンジ「English Space」を開設しました。南キャンパスと合わせて2カ所になり、英会話力鍛錬の環境を充実させました。平成22年度は、延べ3,058名の学生が英会話ラウンジ「English Space」を利用しました。さらに、図書館内に学習支援室を開設し、学習アドバイザー2名を配置しました。学生からの学習相談に応じ、平成22年度は延べ365名の学生が利用しました。

## 4. 学生支援体制の強化

### (1) 新入生オリエンテーション・キャンプの実施

平成22年度新規事業として、新入生オリエンテーション・キャンプを実施しました。平成22年度は経済学部と国際観光学部の2学部において実施しました。経済学部は、平成22年6月19日(土)～20日(日)まで兵庫県立嬉野台生涯教育センターで、国際観光学部は、平成22年5月8日(土)～9日(日)まで兵庫県名色ホテルで、体験学習、キャリアセミナー、上級生を交えての座談会等を実施しました。

### (2) クラブ活動の活性化

クラブ副部長制を導入し、クラブ活動の活性化を図りました。

#### <平成22年度の主なクラブ活動成績>

サッカー部……………関西学生サッカーリーグ優勝

トランポリン部……………全日本大学選手権大会女子優勝

空手道部……………国体ベスト8

スピードスケート部……………日本学生ショートトラック選手権大会男子3000m1位、女子1500m1位

ウエイトトレーニング部……………全日本ジュニアパワーリフティング大会男女総合優勝

世界ジュニアパワーリフティング大会銀メダル

### (3) 学生相談室カウンセラーの増員

本キャンパスの学生相談室カウンセラーを1名増員しました。学生相談件数の増加、相談内容の多様化に対応し、学生支援体制の強化を図りました。

### (4) 教員と関係部署との連携強化

教員と教務課、学生課、学習支援室、学生相談室等関係部署の協力・連携を強化しました。ゼミ担当教員が教務システム(学費納入状況、奨学金情報、クラブ情報、資格取得情報、キャリアカルテ等)のデータを参照できるようにしました。

#### (5) 緊急特別奨学金の創設

阪南大学に在籍する成績優秀な学部学生で、家計急変のため学業を継続することが著しく困難になった学生に対して、緊急特別奨学金を給付するため、規程を整備しました。

### 5. 国際交流の推進

平成22年度にイギリスのエジンバラ大学、ヨークセントジョン大学及びリズ大学と留学に関する協定を新たに締結し、留学先の拡充を図りました。平成22年度は、派遣留学生在が34名となりました。主な派遣先はアメリカ、カナダ、オーストラリア、中国及び韓国となっています。また、受入留学生は157名在籍しており、中国、韓国、ベトナムなどから留学生を受け入れています。

### 6. サテライト(中小企業ハッチャ-支援センター)の活用

大阪市淀屋橋にあるサテライトでは、本学卒業生などの起業相談・経営相談に応じるほか、在学生・第2新卒者の就職支援を活発に行っています。サテライトには、キャリアセンターの職員も常駐し、就職に係る相談等に応じました。また、大学から最新の知識、情報、国内外のネットワークを企業に提供し、産官学が協力してグローバルなビジネスチャンスにつなげるため、平成22年12月に中小企業グローバルビジネス研究会を立ち上げ、活動を開始しました。

### 7. 地域との連携強化

#### (1) 松原市等との連携協力

平成22年1月に大阪府松原市と連携協力に関する包括協定を締結しました。教育・文化・スポーツの振興、地域経済の活性化、国際交流、安全対策において連携を強化しました。松原市とは、本学の保有する施設が、災害時の避難所等として地域に貢献できるよう調整を図っています。

また、大阪府河内長野市及び兵庫県商工会連合会との連携協力も推進しました。河内長野市とは、「教育の推進・産業の活性化の分野等における連携協力協定」を平成23年3月に締結しました。河内長野市の観心寺と金剛寺を結ぶシャトルバスの運行に係わる来訪者へのサービスや「ぐるっとまちじゅう博物館」(山城合戦)を実施しています。また、兵庫県商工会連合会とは、平成22年5月に「阪南大学と兵庫県商工会連合会との連携協力に関する協定書」を締結しました。兵庫県朝来市と兵庫県豊岡市の事業委員会で提案された兵庫県下商工会の事業(関ゼミ)及び観光振興に関する事業(安井ゼミ・森山ゼミ)において、ゼミ活動を通じて学生が自治体との連携事業に参画しました。その他大阪府羽曳野市とは、羽曳野市立生活文化情報センターと連携し、主に羽曳野市民を対象とした講座を開講しています。

#### (2) 図書館の開放

大学図書館を広く地域住民の皆様に開放しました。夏休みには高校生へ開放し延べ114名の利用がありました。また、地元中学生の就業体験の受け入れも行いました。

## 8. 大学後援会・同窓会との連携による父母との連絡強化

教育懇談会を平成22年7月に後援会総会と合わせて開催し、100名の父母が参加されました。学業及び就職に関する相談に応じ、「親子の絆を学ぶ」をテーマに本学特任教授アンミカ氏による講演会も開催しました。また、同窓会と連携し教育懇談会を平成22年7月に広島と高松で開催し、40名の父母が参加されました。就職に関する心構え等をテーマに本学の就職に関する取組を伝えました。

## 9. 就職状況(平成22年度卒業生の主な就職先)

| 業種分類  | 進路名                |                      |
|-------|--------------------|----------------------|
| メーカー  | 大和冷機工業株式会社         | シノプフーズ株式会社           |
|       | 株式会社伊藤園            | 神島化学工業株式会社           |
|       | 株式会社ミルボン           | 牛乳石鹼共進社株式会社          |
|       | 株式会社ファンケル          | ドクターリセラ株式会社          |
|       | リンナイ株式会社           | 住友金属工業株式会社           |
|       | JFEスチール株式会社        | JFE鋼板株式会社            |
|       | 株式会社俵屋吉富           | わらべや関西株式会社           |
| 金融    | 株式会社三菱東京UFJ銀行      | 明治安田生命保険相互会社         |
|       | 日本郵政株式会社(日本郵政グループ) | みずほインベスターズ証券株式会社     |
|       | 但馬信用金庫             | 成協信用組合               |
| 建設業   | 清水建設株式会社           | 大和ハウス工業株式会社          |
|       | 積水ハウス株式会社          | 大東建託株式会社             |
| 商社    | 株式会社ドウシシャ          | リコージャパン株式会社          |
|       | イワタニガスネットワーク株式会社   | 株式会社ドトールコーヒー         |
|       | カネボウ化粧品販売株式会社      | 株式会社メンズ・ピギ           |
|       | コーセー化粧品販売株式会社      | 株式会社オンワード樺山          |
| 情報通信  | 株式会社DTS            | NECシステムテクノロジー株式会社    |
|       | TISシステムサービス株式会社    | 株式会社ミロク情報サービス        |
| 輸送・航空 | 西日本旅客鉄道株式会社        | 佐川急便株式会社             |
|       | 株式会社サカイ引越センター      | キリン物流株式会社            |
|       | 株式会社JALスカイ名古屋      | 上海航空公司               |
| 流通    | 株式会社セブン-イレブン・ジャパン  | 株式会社パル               |
|       | 株式会社メガネトップ         | 株式会社ユナイテッドアローズ       |
|       | ブックオフコーポレーション株式会社  | 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド |
|       | 株式会社ゼンショー          | 株式会社吉野家              |
|       | 株式会社コメリ            | 株式会社万代               |
|       | 上新電機株式会社           | 株式会社サンドラッグ           |
| サービス  | リゾートトラスト株式会社       | 西尾レントオール株式会社         |
|       | 総合警備保障株式会社         | 株式会社近鉄リテールサービス       |
|       | 株式会社学情             | 株式会社ジェイアール東海ツアーズ     |
|       | 株式会社エイチ・アイ・エス      | シェラトンホテル広島           |
|       | 株式会社ビケンテクノ         | 株式会社トヨタレンタリース大阪      |
| 公務    | 松原市役所              | 東京消防庁                |
|       | 大阪府警察本部            | 滋賀県警察本部              |

### - 3 高等学校及び同中等部の事業概要

#### 1. 教育改革の推進(総合進学コースの設置)

高等学校の「国際コース」と「総合コース」を統合し、「総合進学コース」を設置しました。同時に、全コースで共学となりました。さらに、平成23年度より、現在の「国英コース」と「数英コース」を統合し、「文理特進コース」を設置するための準備を行いました。(平成23年4月に「文理特進コース」を計画通り、開設しております。) なお、様々な教育改革の取組に伴い、高等学校におきましては、平成22年度に実施しました平成23年度入試の志願者が大幅増となり、入学者は全コースで623名となりました。

#### 2. 進学関係

平成23年度入試の主な大学合格者は、以下のとおりです。(卒業者を含んでいます)

|        |     | 単位(人)   |   |
|--------|-----|---------|---|
| 阪南大学   | 133 | 大阪薬科大学  | 1 |
| 関西大学   | 24  | 神戸薬科大学  | 1 |
| 関西学院大学 | 6   | 同志社女子大学 | 3 |
| 同志社大学  | 2   | 京都女子大学  | 1 |
| 立命館大学  | 4   | 東海大学    | 1 |

#### 3. 施設の整備

自転車通学者に対応するため、駐輪場の改修を行いました。また全面人工芝になった高見の里グラウンドを授業、クラブ活動で活用しています。

#### 4. 奨学金制度の拡充

従来からのスポ - ツ特待生奨学金に加えて、大阪府松原市内の市立中学に在学する成績優秀者で、平成23年度開設予定の「文理特進コース」を専願で希望する生徒に対して、奨学金を給付する制度を設けました。

#### 5. 主なクラブ活動の成績

|         |   |
|---------|---|
| サッカー部   | 全国高校サッカー選手権大阪府予選準優勝   |
| トランポリン部 | Indo Pacific大会出場(クラス別個人優勝2名)<br>全国高等学校選手権大会(団体優勝)<br>世界年齢別選手権大会出場(クラス別個人2位)<br>全日本選手権大会出場(団体優勝) |
| 軽音楽部    | 高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト「We are Sneaker Ages」<br>(6年連続10回出場)  |

## - 4 施設の状況

主要校舎等建物の状況

|        | 種別            | 号館  | 延べ床面積<br>m <sup>2</sup> | 取得年度           |
|--------|---------------|-----|-------------------------|----------------|
| 大学     | インテリジェントセンター- | 1号館 | 11,898.04               | 2004年          |
|        | 校舎            | 2号館 | 2,094.75                | 2009年          |
|        | コミュニティプラザ     | 3号館 | 2,588.52                | 2004年          |
|        | 校舎            | 4号館 | 4,492.27                | 1972年(2001年改修) |
|        | GYC HALL体育館   | 5号館 | 5,057.64                | 1994年          |
|        | 校舎            | 6号館 | 6,253.83                | 1979年(2004年改修) |
|        | 大学院           | 7号館 | 1,022.20                | 1986年(2004年改修) |
|        | 校舎            | 8号館 | 7,531.18                | 1989年          |
|        | 校舎            | 9号館 | 9,034.29                | 1997年          |
| 高校・中等部 | 校舎            |     | 18,212.25               | 2002年          |

## 財務の概要

### - 1 平成22年度決算の特徴

#### 1. 経営方針の維持

経営方針である「借入金に依存しない健全経営」「将来に備えての現保有資産(現預金)を確保」を維持しました。

#### 2. 収入超過の維持

帰属収入は、約71億円となりました。帰属収入から基本金組入約4.2億円を差し引いた消費収入は66.8億円となりました。消費収入の内から消費支出に約63億円をあてまして、約3.8億円の収入超過となり、今期も収入超過を維持しました。

#### 3. 学生のニーズに対応した施設設備の整備

学生生徒の安全衛生面に配慮し、施設設備の整備を自己資金で行いました。

#### 4. 大学創立50周年記念館建設の準備

(仮称)阪南大学創立50周年記念館建設のため、積立を開始いたしました。今期4億円を阪南大学創立50周年記念館建設引当特定資産として積立しました。

#### 5. 金融資産の安全運用

金融資産(積立金、現金預金)は、現金預金のみで安全に運用し、運用に関する損失や含み損は、一切発生しておりません。引き続き、現金預金のみで運用を行います。



## - 2 資金収支の概要

資金収支計算書は、学校法人阪南大学における平成22年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と平成22年度の支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金をいう)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

### < 収入 >

・学生生徒等納付金収入(59億5,654万円)

学生・生徒からの授業料、施設費、入学金を計上しています。

学納金は、入学してから卒業するまで同額です。(スライド制は適用していません。)

・手数料収入(1億228万円)

手数料収入の主なものは入学検定料収入です。入学志願者は、大学院25名、学部5,324名、高校2,080名でした。

・寄付金収入(1,096万円)

高校PTA等からの寄付金を計上しています。

・補助金収入(6億3,615万円)

国庫補助金収入は、2億2,833万円で、大部分が大学の経常費補助金です。

地方公共団体補助金収入は、2億9,525万円で、大部分が高等学校及び同中等部に対する経常費補助金です。

授業料軽減補助金収入は、高等学校の授業料に対する補助金で1億1,255万円を計上しています。

### < 支出 >

・人件費支出(41億7,177万円)

専任教職員等給与、退職金を計上しています。

・教育研究経費支出(11億6,809万円)

ITを活用した教育環境の整備経費、キャリア支援経費等を計上しています。

・管理経費(3億7,748万円)

学生募集経費、法人の運営経費等を計上しています。

・施設関係支出(1,251万円)

大学建物床滑り止め工事他工事費を計上しています。

・設備関係支出(8,088万円)

機器備品(3,559万円)、図書取得(4,528万円)を計上しています。

・資産運用支出(15億183万円)

特定資産への繰入分を計上しています。減価償却引当特定資産へ5億円、施設設備整備引当特定資産へ5億円、退職給与引当特定資産へ1億円、大学創立50周年記念館建設引当特定資産へ4億円を繰入しました。

### - 3 消費収支の概要

消費収支計算書は、平成22年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものです。消費収入から消費支出を差し引いた額を当年度消費収入超過額といい、3億8,062万円を計上しました。翌年度繰越消費収入超過額は126億3,762万円となりました。

### - 4 貸借対照表の概要

平成23年3月31日時点の学園の財産状態を示しています。資産の部合計は、前年度に比べて7億4,837万円増加となりました。負債については、借入金はゼロですが、平成23年度入学者に係る入学手続金(前受金)が含まれています。資産から負債を引いた額(正味財産)は、463億709万円となりました。

(金額は千円以下を切り捨て表示しています。)

- 5 資金収支計算書(法人全体)

**資金収支計算書**

平成22年4月1日から

平成23年3月31日まで

(単位 円)

| 収入の部        |                |                |             |
|-------------|----------------|----------------|-------------|
| 科 目         | 予 算            | 決 算            | 差 異         |
| 学生生徒等納付金収入  | 6,170,851,000  | 5,956,548,800  | 214,302,200 |
| 手数料収入       | 98,738,000     | 102,284,050    | 3,546,050   |
| 寄付金収入       | 9,000,000      | 10,967,500     | 1,967,500   |
| 補助金収入       | 606,956,000    | 636,152,446    | 29,196,446  |
| 国庫補助金収入     | 200,000,000    | 228,337,000    | 28,337,000  |
| 地方公共団体補助金収入 | 300,300,000    | 295,256,246    | 5,043,754   |
| 授業料軽減補助金収入  | 106,656,000    | 112,559,200    | 5,903,200   |
| 資産運用収入      | 101,000,000    | 107,742,695    | 6,742,695   |
| 事業収入        | 1,000,000      | 0              | 1,000,000   |
| 雑収入         | 250,678,000    | 286,681,623    | 36,003,623  |
| 前受金収入       | 989,500,000    | 1,062,709,000  | 73,209,000  |
| その他の収入      | 469,357,149    | 453,825,910    | 15,531,239  |
| 資金収入調整勘定    | 1,253,375,000  | 1,264,319,735  | 10,944,735  |
| 前年度繰越支払資金   | 11,150,888,339 | 11,150,888,339 | 0           |
| 収入の部合計      | 18,594,593,488 | 18,503,480,628 | 91,112,860  |
| 支出の部        |                |                |             |
| 科 目         | 予 算            | 決 算            | 差 異         |
| 人件費支出       | 4,190,960,000  | 4,171,775,621  | 19,184,379  |
| 教育研究経費支出    | 1,262,732,000  | 1,168,093,857  | 94,638,143  |
| 管理経費支出      | 404,043,000    | 377,487,510    | 26,555,490  |
| 施設関係支出      | 125,597,000    | 12,512,242     | 113,084,758 |
| 設備関係支出      | 74,979,000     | 80,882,617     | 5,903,617   |
| 資産運用支出      | 1,500,000,000  | 1,501,839,944  | 1,839,944   |
| その他の支出      | 354,291,322    | 347,643,107    | 6,648,215   |
| 資金支出調整勘定    | 134,380,423    | 115,109,427    | 19,270,996  |
| 次年度繰越支払資金   | 10,816,371,589 | 10,958,355,157 | 141,983,568 |
| 支出の部合計      | 18,594,593,488 | 18,503,480,628 | 91,112,860  |

- 6 消費収支計算書(法人全体)

**消費収支計算書**

平成22年4月 1日から

平成23年3月31日まで

(単位 円)

| 消費収入の部       |                |                |             |
|--------------|----------------|----------------|-------------|
| 科 目          | 予 算            | 決 算            | 差 異         |
| 学生生徒等納付金     | 6,170,851,000  | 5,956,548,800  | 214,302,200 |
| 手数料          | 98,738,000     | 102,284,050    | 3,546,050   |
| 寄付金          | 9,360,000      | 15,449,435     | 6,089,435   |
| 補助金          | 606,956,000    | 636,152,446    | 29,196,446  |
| 国庫補助金収入      | 200,000,000    | 228,337,000    | 28,337,000  |
| 地方公共団体補助金収入  | 300,300,000    | 295,256,246    | 5,043,754   |
| 授業料軽減補助金収入   | 106,656,000    | 112,559,200    | 5,903,200   |
| 資産運用収入       | 101,000,000    | 107,742,695    | 6,742,695   |
| 事業収入         | 1,000,000      | 0              | 1,000,000   |
| 雑収入          | 250,678,000    | 286,681,623    | 36,003,623  |
| 帰属収入合計       | 7,238,583,000  | 7,104,859,049  | 133,723,951 |
| 基本金組入額合計     | 508,200,000    | 421,834,981    | 86,365,019  |
| 消費収入の部合計     | 6,730,383,000  | 6,683,024,068  | 47,358,932  |
| 消費支出の部       |                |                |             |
| 科 目          | 予 算            | 決 算            | 差 異         |
| 人件費          | 4,157,177,000  | 4,095,747,119  | 61,429,881  |
| 教育研究経費       | 1,902,732,000  | 1,727,208,891  | 175,523,109 |
| 管理経費         | 476,043,000    | 458,855,100    | 17,187,900  |
| 資産処分差額       | 0              | 19,593,944     | 19,593,944  |
| 徴収不能引当金繰入額   | 0              | 979,350        | 979,350     |
| 徴収不能額        | 0              | 9,900          | 9,900       |
| 消費支出の部合計     | 6,535,952,000  | 6,302,394,304  | 233,557,696 |
| 当年度消費収入超過額   | 194,431,000    | 380,629,764    |             |
| 前年度繰越消費収入超過額 | 12,256,991,772 | 12,256,991,772 |             |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | 12,451,422,772 | 12,637,621,536 |             |

- 7 貸借対照表(法人全体)

## 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位 円)

| 資産の部                   |                |                |               |
|------------------------|----------------|----------------|---------------|
| 科 目                    | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減           |
| 固定資産                   | 38,416,258,443 | 37,572,898,583 | 843,359,860   |
| 有形固定資産                 | 22,169,550,581 | 22,733,187,921 | 563,637,340   |
| 土地                     | 9,580,910,840  | 9,580,910,840  | 0             |
| 建物                     | 9,430,187,379  | 9,861,671,342  | 431,483,963   |
| その他の有形固定資産             | 3,158,452,362  | 3,290,605,739  | 132,153,377   |
| その他の固定資産               | 16,246,707,862 | 14,839,710,662 | 1,406,997,200 |
| 流動資産                   | 11,267,581,838 | 11,362,568,956 | 94,987,118    |
| 現金預金                   | 10,958,355,157 | 11,150,888,339 | 192,533,182   |
| その他の流動資産               | 309,226,681    | 211,680,617    | 97,546,064    |
| 資産の部合計                 | 49,683,840,281 | 48,935,467,539 | 748,372,742   |
| 負債の部                   |                |                |               |
| 科 目                    | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減           |
| 固定負債                   | 2,061,747,323  | 2,139,213,391  | 77,466,068    |
| 長期借入金                  | 0              | 0              | 0             |
| その他の固定負債               | 2,061,747,323  | 2,139,213,391  | 77,466,068    |
| 流動負債                   | 1,314,994,586  | 1,291,620,521  | 23,374,065    |
| 短期借入金                  | 0              | 0              | 0             |
| その他の流動負債               | 1,314,994,586  | 1,291,620,521  | 23,374,065    |
| 負債の部合計                 | 3,376,741,909  | 3,430,833,912  | 54,092,003    |
| 基本金の部                  |                |                |               |
| 科 目                    | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減           |
| 第1号基本金                 | 32,781,057,762 | 32,759,222,781 | 21,834,981    |
| 第2号基本金                 | 400,000,000    | 0              | 400,000,000   |
| 第4号基本金                 | 488,419,074    | 488,419,074    | 0             |
| 基本金の部合計                | 33,669,476,836 | 33,247,641,855 | 421,834,981   |
| 消費収支差額の部               |                |                |               |
| 科 目                    | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減           |
| 消費収支差額の部合計             | 12,637,621,536 | 12,256,991,772 | 380,629,764   |
| 科 目                    | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減           |
| 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 49,683,840,281 | 48,935,467,539 | 748,372,742   |

- 8 財産目録

|             |                  |
|-------------|------------------|
| <b>資産総額</b> | 49,683,840,281 円 |
| 内 1 基本財産    | 22,181,961,243 円 |
| 2 運用財産      | 27,501,879,038 円 |
| [ 3 収益事業用財産 | 0 円 ]            |
| <b>負債総額</b> | 3,376,741,909 円  |
| <b>正味財産</b> | 46,307,098,372 円 |

| 区分                         | 金額(円)                 |
|----------------------------|-----------------------|
| 一 資産額                      |                       |
| (一)基本財産                    | <b>22,181,961,243</b> |
| 1 土地                       | 9,580,910,840         |
| 2 建物                       | 9,430,187,379         |
| 3 構築物                      | 762,148,076           |
| 4 教具・校具・備品                 | 389,584,527           |
| 5 図書                       | 2,006,719,756         |
| 6 車両                       | 3                     |
| 7 電話加入権                    | 4,849,582             |
| 8 敷金                       | 7,561,080             |
| (二)運用財産                    | <b>27,501,879,038</b> |
| 1 現金預金                     | 10,958,355,157        |
| 2 積立金                      | 15,939,009,976        |
| 3 奨学貸付金                    | 323,997,200           |
| 4 短期貸付金                    | 1,630,000             |
| 5 未収入金                     | 266,677,119           |
| 6 前払金                      | 10,680,317            |
| 7 立替金                      | 1,529,269             |
| <b>資産額合計</b>               | <b>49,683,840,281</b> |
| 二 負債額                      |                       |
| 1 固定負債                     | <b>2,061,747,323</b>  |
| (1)退職給与引当金                 | 2,061,747,323         |
| 2 流動負債                     | <b>1,314,994,586</b>  |
| (1)未払金                     | 102,729,004           |
| (2)前受金                     | 1,062,709,000         |
| (3)預り金                     | 120,846,606           |
| (4)研修旅行費預り金                | 28,709,976            |
| <b>負債額合計</b>               | <b>3,376,741,909</b>  |
| <b>正味財産(資産額合計 - 負債額合計)</b> | <b>46,307,098,372</b> |

注記 資産の計上は、取得価額基準によっております。

- 9 資金収支内訳表

資金収支内訳表  
平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで  
収入の部

< 総括表 >

(単位 円)

| 科目 \ 部門     | 学校法人       | 阪南大学          | 阪南大学高校      | 阪南大学高校中等部  |
|-------------|------------|---------------|-------------|------------|
| 学生生徒等納付金収入  | 0          | 5,412,053,000 | 490,235,800 | 54,260,000 |
| 手数料収入       | 0          | 59,888,750    | 41,820,558  | 574,742    |
| 寄付金収入       | 0          | 1,927,500     | 9,040,000   | 0          |
| 補助金収入       | 0          | 228,694,840   | 377,645,606 | 29,812,000 |
| 国庫補助金収入     | 0          | 228,337,000   | 0           | 0          |
| 地方公共団体補助金収入 | 0          | 357,840       | 265,086,406 | 29,812,000 |
| 授業料軽減補助金収入  | 0          | 0             | 112,559,200 | 0          |
| 資産運用収入      | 0          | 102,419,584   | 4,875,438   | 447,673    |
| 雑収入         | 30,857,000 | 210,145,707   | 45,628,383  | 50,533     |
| 計           | 30,857,000 | 6,015,129,381 | 969,245,785 | 85,144,948 |

支出の部

< 総括表 >

(単位 円)

| 科目 \ 部門  | 学校法人        | 阪南大学          | 阪南大学高校        | 阪南大学高校中等部  |
|----------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 人件費支出    | 121,693,813 | 3,167,313,616 | 833,215,554   | 49,552,638 |
| 教育研究経費支出 | 0           | 985,877,326   | 168,397,228   | 13,819,303 |
| 管理経費支出   | 7,593,945   | 326,867,342   | 39,407,725    | 3,618,498  |
| 施設関係支出   | 0           | 9,932,392     | 2,362,885     | 216,965    |
| 設備関係支出   | 1,544,550   | 73,287,678    | 5,541,553     | 508,836    |
| 計        | 130,832,308 | 4,563,278,354 | 1,048,924,945 | 67,716,240 |

- 10 消費収支内訳表

消費収支内訳表  
平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで  
消費収入の部

< 総括表 > (単位 円)

| 科目 \ 部門   | 学校法人       | 阪南大学          | 阪南大学高校      | 阪南大学高校中等部  |
|-----------|------------|---------------|-------------|------------|
| 学生生徒等納付金  | 0          | 5,412,053,000 | 490,235,800 | 54,260,000 |
| 手数料       | 0          | 59,888,750    | 41,820,558  | 574,742    |
| 寄付金       | 0          | 5,956,435     | 9,493,000   | 0          |
| 補助金       | 0          | 228,694,840   | 377,645,606 | 29,812,000 |
| 国庫補助金     | 0          | 228,337,000   | 0           | 0          |
| 地方公共団体補助金 | 0          | 357,840       | 265,086,406 | 29,812,000 |
| 授業料軽減補助金  | 0          | 0             | 112,559,200 | 0          |
| 資産運用収入    | 0          | 102,419,584   | 4,875,438   | 447,673    |
| 雑収入       | 30,857,000 | 210,145,707   | 45,628,383  | 50,533     |
| 帰属収入合計    | 30,857,000 | 6,019,158,316 | 969,698,785 | 85,144,948 |
| 基本金組入額合計  | 1,544,550  | 413,321,398   | 6,382,214   | 586,029    |
| 消費収入の部合計  | 29,312,450 | 5,605,836,918 | 963,316,571 | 84,558,919 |

消費支出の部

< 総括表 > (単位 円)

| 科目 \ 部門    | 学校法人        | 阪南大学          | 阪南大学高校        | 阪南大学高校中等部  |
|------------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 人件費        | 114,829,315 | 3,138,376,904 | 787,326,539   | 55,214,361 |
| 教育研究経費     | 0           | 1,423,997,207 | 279,216,689   | 23,994,995 |
| 管理経費       | 15,776,562  | 387,937,236   | 50,503,926    | 4,637,376  |
| 資産処分差額     | 0           | 19,496,643    | 89,118        | 8,183      |
| 徴収不能引当金繰入額 | 0           | 0             | 979,350       | 0          |
| 徴収不能額      | 0           | 0             | 9,900         | 0          |
| 消費支出の部合計   | 130,605,877 | 4,969,807,990 | 1,118,125,522 | 83,854,915 |



- 11 キャッシュフロ - 計算書

キャッシュ・フロー計算書(平成22年度法人全体)

(単位:円)

事業活動によるキャッシュ・フロー

|                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 学生生徒等納付金収入              | 6,018,960,800        |
| 手数料収入                   | 102,284,050          |
| 寄付金収入                   | 10,967,500           |
| 補助金収入                   | 636,152,446          |
| 雑収入                     | 286,681,623          |
| 前受金収入                   | 0                    |
| その他の収入                  | 316,348,110          |
| その他の収入調整勘定              | 264,022,735          |
| <b>小計</b>               | <b>7,107,371,794</b> |
| 人件費支出                   | 4,171,775,621        |
| 教育研究経費支出                | 1,168,093,857        |
| 管理経費支出                  | 377,487,510          |
| その他の支出                  | 300,968,130          |
| その他の支出調整勘定              | 111,016,913          |
| <b>小計</b>               | <b>5,907,308,205</b> |
| <b>事業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>1,200,063,589</b> |

施設等整備・投資活動によるキャッシュ・フロー

|                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| 貸付金回収収入                       | 37,477,800           |
| 特定資産からの繰入収入                   | 100,000,000          |
| 資産運用収入                        | 107,742,695          |
| <b>小計</b>                     | <b>245,220,495</b>   |
| 施設関係支出                        | 12,512,242           |
| 設備関係支出                        | 80,882,617           |
| 貸付金支払支出                       | 44,010,000           |
| 特定資産への繰入支出                    | 1,501,839,944        |
| その他の支出                        | 2,664,977            |
| その他の支出調整勘定                    | 4,092,514            |
| <b>小計</b>                     | <b>1,637,817,266</b> |
| <b>施設等整備・投資活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>1,392,596,771</b> |

財務活動によるキャッシュ・フロー

|                         |          |
|-------------------------|----------|
| 借入金収入                   | 0        |
| <b>小計</b>               | <b>0</b> |
| 借入金返済支出                 | 0        |
| <b>小計</b>               | <b>0</b> |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>0</b> |

|             |                |
|-------------|----------------|
| 繰越支払資金の増減額  | 192,533,182    |
| 繰越支払資金の期首残高 | 11,150,888,339 |
| 繰越支払資金の期末残高 | 10,958,355,157 |

注) 繰越支払資金は、貸借対照表の現金預金と一致しています。

- 12 5ヶ年の経年比較(法人全体)

貸借対照表

単位(千円)

|            | 平成18年度末    | 平成19年度末    | 平成20年度末    | 平成21年度末    | 平成22年度末    |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 固定資産       | 36,219,910 | 36,819,937 | 37,112,723 | 37,572,898 | 38,416,258 |
| 有形固定資産     | 23,342,338 | 23,165,778 | 22,782,542 | 22,733,187 | 22,169,550 |
| 土地         | 9,580,910  | 9,580,910  | 9,580,910  | 9,580,910  | 9,580,911  |
| 建物         | 10,658,579 | 10,166,126 | 9,847,305  | 9,861,671  | 9,430,187  |
| その他の有形固定資産 | 3,102,849  | 3,418,742  | 3,354,327  | 3,290,606  | 3,158,452  |
| その他の固定資産   | 12,877,571 | 13,654,158 | 14,330,180 | 14,839,710 | 16,246,707 |
| 流動資産       | 10,613,194 | 10,821,693 | 11,060,798 | 11,362,568 | 11,267,581 |
| 現金預金       | 10,416,126 | 10,553,614 | 10,771,352 | 11,150,888 | 10,958,355 |
| その他の流動資産   | 197,068    | 268,079    | 289,446    | 211,680    | 309,226    |
| 資産の部合計     | 46,833,105 | 47,641,630 | 48,173,521 | 48,935,467 | 49,683,840 |
| 固定負債       | 2,367,380  | 2,315,386  | 2,242,875  | 2,139,213  | 2,061,747  |
| 長期借入金      | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| その他の固定負債   | 2,367,380  | 2,315,386  | 2,242,875  | 2,139,213  | 2,061,747  |
| 流動負債       | 1,305,576  | 1,336,183  | 1,323,882  | 1,291,620  | 1,314,994  |
| 短期借入金      | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| その他の流動負債   | 1,305,576  | 1,336,183  | 1,323,882  | 1,291,620  | 1,314,994  |
| 負債の部合計     | 3,672,957  | 3,651,570  | 3,566,758  | 3,430,833  | 3,376,741  |
| 基本金の部合計    | 31,855,726 | 32,350,855 | 32,650,608 | 33,247,641 | 33,669,476 |
| 消費収支差額の部合計 | 11,304,421 | 11,639,204 | 11,956,154 | 12,256,991 | 12,637,621 |

資金収支計算書

単位(千円)

|            | 平成18年度     | 平成19年度     | 平成20年度     | 平成21年度     | 平成22年度末    |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 収入の部       |            |            |            |            |            |
| 学生生徒等納付金収入 | 6,121,426  | 6,064,313  | 5,993,517  | 5,966,832  | 5,956,548  |
| 手数料収入      | 94,736     | 92,906     | 99,666     | 93,520     | 102,284    |
| 寄付金収入      | 10,920     | 10,640     | 11,651     | 14,297     | 10,967     |
| 補助金収入      | 697,475    | 764,578    | 758,510    | 754,938    | 636,152    |
| 資産運用収入     | 112,050    | 154,696    | 178,272    | 125,376    | 107,742    |
| 事業収入       | 1,619      | 741        | 1,443      | 1,008      | 0          |
| 雑収入        | 100,758    | 203,777    | 203,680    | 195,981    | 286,681    |
| 前受金収入      | 1,019,152  | 1,010,163  | 1,014,627  | 1,000,297  | 1,062,709  |
| その他の収入     | 548,824    | 789,432    | 846,346    | 1,041,883  | 453,825    |
| 資金収入調整勘定   | 1,113,914  | 1,208,096  | 1,220,524  | 1,184,984  | 1,264,319  |
| 前年度繰越支払資金  | 9,930,702  | 10,416,126 | 10,553,614 | 10,771,352 | 11,150,888 |
| 収入の部合計     | 17,523,750 | 18,299,278 | 18,440,806 | 18,780,505 | 18,503,480 |
| 支出の部       |            |            |            |            |            |
| 人件費支出      | 4,061,518  | 4,243,427  | 4,165,954  | 4,105,480  | 4,171,775  |
| 教育研究経費支出   | 1,060,420  | 1,161,653  | 1,368,804  | 1,198,684  | 1,168,093  |
| 管理経費支出     | 400,024    | 416,233    | 418,383    | 380,188    | 377,487    |
| 借入金等利息支出   | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 借入金等返済支出   | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 施設関係支出     | 77,281     | 405,702    | 243,592    | 490,723    | 12,512     |
| 設備関係支出     | 83,598     | 106,887    | 93,539     | 132,942    | 80,882     |
| 資産運用支出     | 1,213,267  | 1,200,000  | 1,100,000  | 1,100,000  | 1,501,839  |
| その他の支出     | 334,066    | 366,911    | 415,399    | 366,531    | 347,643    |
| 資金支出調整勘定   | 122,554    | 155,151    | 136,220    | 144,935    | 115,109    |
| 次年度繰越支払資金  | 10,416,126 | 10,553,614 | 10,771,352 | 11,150,888 | 10,958,355 |
| 支出の部合計     | 17,523,750 | 18,299,278 | 18,440,806 | 18,780,505 | 18,503,480 |

## 消費収支計算書

単位(千円)

| 消費収入の部       | 平成18年度     | 平成19年度     | 平成20年度     | 平成21年度     | 平成22年度     |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 学生生徒等納付金     | 6,121,426  | 6,064,313  | 5,993,517  | 5,966,832  | 5,956,548  |
| 手数料          | 94,736     | 92,906     | 99,666     | 93,520     | 102,284    |
| 寄付金          | 13,613     | 15,203     | 14,469     | 29,474     | 15,449     |
| 補助金          | 697,475    | 764,578    | 758,510    | 754,938    | 636,152    |
| 資産運用収入       | 112,050    | 154,696    | 178,272    | 125,376    | 107,742    |
| 事業収入         | 1,619      | 741        | 1,443      | 1,008      | 0          |
| 雑収入          | 100,758    | 203,777    | 203,680    | 195,981    | 286,681    |
| 帰属収入合計       | 7,141,679  | 7,296,217  | 7,249,562  | 7,167,133  | 7,104,859  |
| 基本金組入額合計     | 0          | 495,129    | 320,907    | 597,033    | 421,834    |
| 消費収入の部合計     | 7,141,679  | 6,801,087  | 6,928,655  | 6,570,100  | 6,683,024  |
| 消費支出の部       | 平成18年度     | 平成19年度     | 平成20年度     | 平成21年度     | 平成22年度     |
| 人件費          | 4,055,346  | 4,194,920  | 4,119,364  | 4,002,151  | 4,095,747  |
| 教育研究経費       | 1,672,608  | 1,756,095  | 1,985,252  | 1,777,647  | 1,727,208  |
| 管理経費         | 494,438    | 509,412    | 495,831    | 454,323    | 458,855    |
| 借入金等利息支出     | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 資産処分差額       | 34,555     | 5,875      | 28,479     | 34,767     | 19,594     |
| 徴収不能引当金繰入額   | 0          | 0          | 2,643      | 373        | 979        |
| 徴収不能額        | 0          | 0          | 1,287      | 0          | 9          |
| 消費支出の部合計     | 6,256,949  | 6,466,304  | 6,632,859  | 6,269,262  | 6,302,394  |
| 当年度消費収入超過額   | 884,729    | 334,783    | 295,796    | 300,837    | 380,629    |
| 前年度繰越消費収入超過額 | 10,349,242 | 11,304,421 | 11,639,204 | 11,956,154 | 12,256,991 |
| 基本金取崩額       | 70,449     | 0          | 21,153     | 0          | 0          |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | 11,304,421 | 11,639,204 | 11,956,154 | 12,256,991 | 12,637,621 |

(貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書の金額は千円未満を切り捨て表示しています)

## 財務比率(法人全体)

| 比率名            | 算式  | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|----------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 帰属収支差額<br>比率   | $\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$ | 12.4%  | 11.4%  | 8.5%   | 12.5%  | 11.3%  |
| 消費収支比率         | $\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$               | 87.6%  | 95.1%  | 95.7%  | 95.4%  | 94.3%  |
| 学生生徒等納付金<br>比率 | $\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$            | 85.7%  | 83.1%  | 82.7%  | 83.3%  | 83.8%  |
| 人件費比率          | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$                | 56.8%  | 57.5%  | 56.8%  | 55.8%  | 57.6%  |
| 教育研究経費<br>比率   | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$             | 23.4%  | 24.1%  | 27.4%  | 24.8%  | 24.3%  |
| 管理経費比率         | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$               | 6.9%   | 7.0%   | 6.8%   | 6.3%   | 6.5%   |
| 流動比率           | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$               | 812.9% | 809.9% | 835.5% | 879.7% | 856.9% |
| 負債比率           | $\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金(1)}}$             | 8.5%   | 8.3%   | 8.0%   | 7.5%   | 7.3%   |
| 自己資金構成<br>比率   | $\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金(2)}}$             | 92.2%  | 92.3%  | 92.6%  | 93.0%  | 93.2%  |
| 基本金比率          | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$             | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

1 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額

2 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

- 13 財務比率グラフ(法人全体)

財務比率グラフ(法人全体)

